

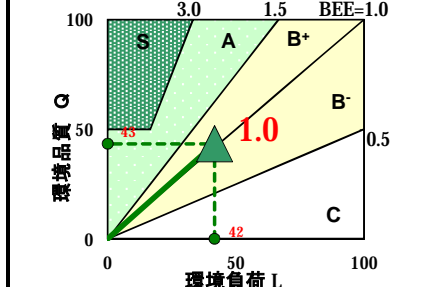
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)泉南りんくう公園整備等 B棟	階数	地上2F
建設地	大阪府泉南市りんくう南浜	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2019年8月25日
敷地面積	41,442 m ²	作成者	松木 克典
建築面積	1,830 m ²	確認日	2019年8月25日
延床面積	3,106 m ²	確認者	松木 克典



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

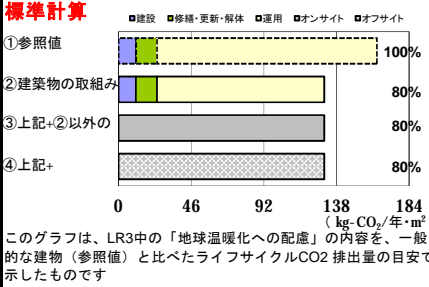
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

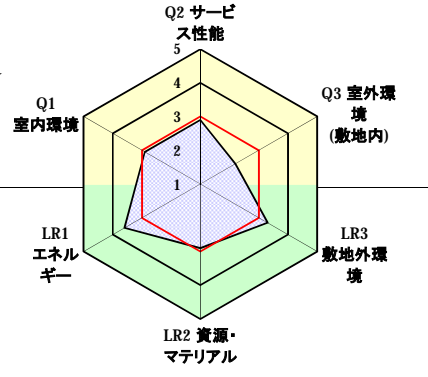
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

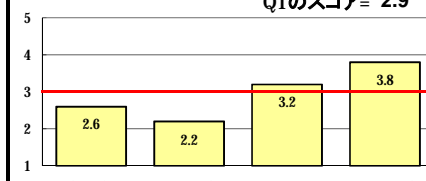


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

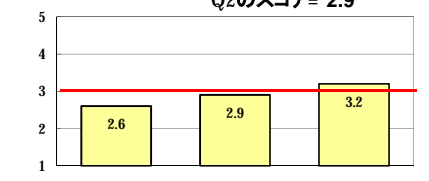
Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9



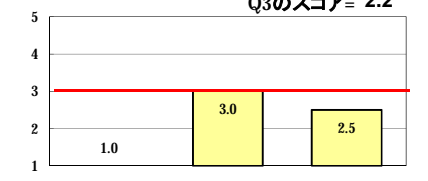
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9



Q3 室外環境(敷地内)

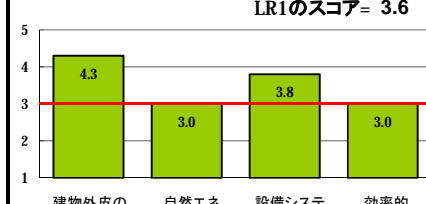
Q3のスコア = 2.2



LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

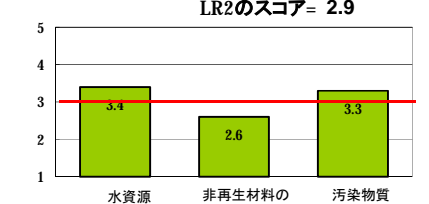
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6



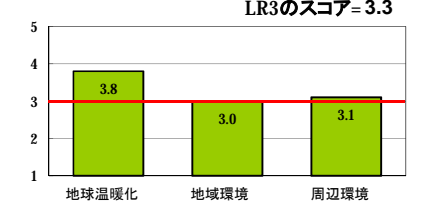
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3



3 設計上の配慮事項		
総合	空冷ヒートポンプの高効率機器を採用し、省エネルギー性能に配慮。非常時に発電機を使用するなど、サービスの性能に配慮。	その他
Q1 室内環境	仕上材にはF☆☆☆☆を使用することで室内空気質に配慮。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に植栽を設けるなど、温熱環境に配慮。
LR1 エネルギー	LED照明、空冷ヒートポンプの高効率機器を採用し、省エネルギー性能に配慮。	LR3 敷地外環境 十分な駐車台数(575台)を確保し、出入口数及び滞留スペースを出来る限り取るよう配慮。
Q2 サービス性能	維持管理しやすい設計や、非常時に発電機を使用するなど、サービス性能に配慮。	
LR2 資源・マテリアル	グリーン購入法の節水型機器の採用で、資源・マテリアルに配慮。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0074

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)泉南りんくう公園整備等事業 B棟 新築工事					
		建設地	大阪府泉南市りんくう南浜					
		用途/区分	ホテル					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B+		
①	CO2削減	★★★★★			4			
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★			2			
③	建物の断熱性	★★★★★			4			
④	エネルギー削減	★★★★★			4			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
		エネルギー消費量の報告						
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.8	4		
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価			3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			4.3	4		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.8	4		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								